

2026 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード：260422002

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	奥能登・珠洲の暮らしと向き合う——震災・復興・地域の持続可能性
担当者	金光 秀和
実施時期	9月8日火曜日～9月11日金曜日 (3泊4日)
実施場所	石川県珠洲市
協力機関	中島大河氏 (珠洲焼作家)、西海一紗氏 (スズレコードセンター)、楓大海氏・新谷健太氏 (NPO 法人 ガクソー)
募集人員	6名
学習目的	<p>本フィールドスタディは、石川県珠洲市を対象に、震災後の地域社会における暮らしとその再構築の過程に直接触れ、「復興」および「地域の持続可能性」について具体的に考察することを目的とする。</p> <p>珠洲市は震災からの復興過程にあると同時に、人口減少や高齢化といった課題に直面しており、日本社会の将来像を先行的に示す地域でもある。本企画では、こうした課題を抽象的に論じるのではなく、現地に滞在し、地域の暮らしに触れることを通じて理解を深める。</p> <p>具体的には、珠洲焼作家のもとでの滞在を通じて生活の一端を体験するとともに、震災前後に移住してきた人々との対話の機会を設ける。また、地域で活動する NPO 等を訪問し、復興支援や地域づくりの実践について学ぶ。さらに、蛸島地区で開催される秋祭りを見学し、地域に根ざした文化や共同体のあり方に触れる。</p> <p>これらの経験を通じて、学生が「外部から地域に関わるとはどのようなことか」という問いを自ら引き受け、復興や持続可能性をめぐる問題を自分自身の課題として捉える視点を養うことを目指す。</p>
行程	<p>1日目 (9/8 火曜) (10時金沢駅集合)：珠洲へ移動、珠洲探訪 WS、夕食会 2日目 (9/9 水曜)：珠洲焼作家 (中島氏) との懇談、移住者との懇談、夕食会 3日目 (9/10 木曜)：地域で活動する NPO 等を訪問・意見交換、蛸島地区訪問・秋祭り見学、地域住民との交流、夕食会 4日目 (9/11 金曜)：珠洲探訪 WS (12時45分珠洲発のバスに乗りし帰路へ)</p> <p>宿泊先：珠洲市内のゲストハウスを利用予定。宿泊は大部屋での利用とし、男女別に分かれて宿泊する。宿泊費は1泊あたり4,000円程度を見込んでいる。</p>
費用	<p>費用は交通費としておおよそ31,000円を見込んでいる。内訳は以下のとおり：</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京～金沢間の往復交通費：約26,000円 (新幹線を学割で利用した場合) 金沢駅～珠洲間の往復バス代：約5,400円 <p>このほか、宿泊費および食費が別途必要となる。</p>
奨励金の カテゴリー (予定)	C：3,000円
選考基準	<p>企画の趣旨を十分に理解したうえで参加してもらうため、事前説明会への参加を原則として必須とする。事前説明会は①または②のいずれか1回に参加すればよい。やむを得ない事情がある場合は、事前に連絡のうえ個別対応とする。</p> <p>選考は、志望調査票の記述内容 (企画への関心、学習意欲、今後の学びへの活かし方等) に基づき、一次選考として書類審査を行う。一次選考通過者に対しては面接を実施し、地域との交流に対する意欲や、主体的に学ぶ姿勢を確認する。</p>

<p>事前・事後 学習の予定</p>	<p>事前説明会①：5月12日火曜、12:40～13:00、BT24階・人間環境学部・会議室 事前説明会②：5月14日木曜、12:40～13:00、BT24階人間環境学部・学部長室 事前学習①：6月16日火曜、18:40～20:10、BT24階・人間環境学部・会議室 事前学習②：7月14日火曜、18:40～20:10、BT24階・人間環境学部・会議室 事後学習：9月29日火曜、18:40～20:10、BT24階・人間環境学部・会議室</p>
<p>注意事項</p>	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) 応募を考えている方は、原則事前説明会に参加してください。</p>
<p>評価方法</p>	<p>事前・事後学習の状況(30%)、現地活動の状況(40%)、最終レポートの内容(30%)をふまえて総合的に評価する。</p>